

## 令和5年度 研修報告

地区研修会は1年に2回、現場見学と討議に併せて講師を招き、講演会を開催して参加者の学習と研鑽に供してきた。

令和5年度については、令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の位置付けが、「2類感染症（新型インフルエンザ等感染症）」から、「5類感染症」に引き下げられたことから、例年通り、年2回（鶉川ダム・成瀬ダム）の地区研修会を開催した。

### 1. 開催日および参加者数

表 開催日及び参加者数

開催場所 開催形式	開催日	ダム現場等 外勤者	本支店等 内勤者	常任 幹事	ダム 協会	合計
鶉川ダム 現地開催	R5.7.18	12	10	13	1	36
成瀬ダム 現地開催	R5.9.12 ～9.13	8	16	12	1	37

### 2. 現場見学会

#### (1) 鶉川ダム

現地調査に先立ち、発注者の新潟県柏崎地域振興局地域整備部ダム建設課小野課長より鶉川ダム建設事業概要の説明と鶉川ダム本体建設工事共同企業体の中島所長による鶉川ダム建設工事概要の説明がなされた。

現地見学は、左岸展望台、ダム堤体盛立箇所、堤体材料ストックヤード、原石山の順に実施し、堤体盛立状況、洪水吐きの施工状況、材料ストック状況、原石山の採取状況について確認を行った。



堤体盛立状況



原石山採取状況

## (2) 成瀬ダム

現地見学は、マイクロバス 2 台に分乗し、2 班に分かれてそれぞれ交互に堤体打設 JV 工区と原石山 JV 工区の見学を行った。

堤体打設 JV 工区では、最新の DX 技術を活用した見学施設である「KAJIMA DX LABO」を視察したほか、堤体内においては「A4CSEL (クアッドアクセル)」による CSG の自動化施工状況を視察した。

また、原石山工区では、CSG 材製造設備、骨材製造設備、原石採取状況の確認を行った他、CSG 材製造工程で採用している材料運搬大型ダンプトラックの自動運転状況についても視察した。



KAJIMA DX LABO



CSG 自動化施工状況



原石山展望台より堤体を望む



研修会参加者（原石山展望台にて）

## 3. 意見交換会及び CMED 会活動報告

意見交換会では、各ダム工事概要説明が行われた他、現地見学内容を踏まえ、活発な質疑応答、と意見交換がなされた。

CMED 会からは令和 4 年度の活動報告（令和 3 年改訂のダム工事積算の解説（2 交代制の場合は拘束時間 18 時間、賃金対象時間 16 時間等々）をふまえたリフトスケジュール作成時の課題と対応（案））及び令和 5 年度の活動計画（「働き方改革」に伴う積算基準と現場施工の実情との間に生じる課題や問題点に関する現場からの意見の集約・整理、「令和 5 年度国土交通省土木工事・業務の積算基準等の改定」への反映）が報告された。

また、近年工事数が増加してきている「ダム再開発」に向け、これまで実施してきた再開発工事における設計、施工の問題点を抽出し、再開発工事オリジナルの積算体系の構築を支援していく方針も併せて示された。

#### 4. 総 括

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が2類感染症から5類感染症に引き下げられたことから、鵜川ダムと成瀬ダムにおいて、現場見学会と意見交換会を主体とする例年通りの地区研修会を開催することができた。

今年度の地区研修会の開催を通じて、地区研修会は CMED 会会員の技術力研鑽と情報交換の場として重要な機会であることをあらためて認識することができた。

次年度以降も、本年度の経験と反省点ならびに参加者から寄せられたCMED会への要望事項を踏まえ、地区研修会が CMED 会会員及びこれからダム工事総括管理技術者を目指す若手技術者にとってより有意義なものになるよう努力していきたい。

以上